



7 研修第2号

(令和 7 年7月)

発行：宇治市乳幼児教育・保育支援センター

アドレス：nyuyojicenter@city.uji.kyoto.jp



乳幼児教育・保育推進事業 通信 ～令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修～



令和 7 年 5 月 27 日(火) 第2回研修会(保幼小連携)を開催しました。

22名の先生方と一緒に学び合いました。

(保育所(園)3名・幼稚園 3 名・認定こども園7名・小学校 9 名)



1. 実践報告・意見交流

南部小学校、木幡小学校、大開小学校のスタートカリキュラム実践の様子を写真や動画で視聴し、架け橋ブロックのグループで意見交流をしました。





スタートカリキュラム環境、実践の様子を視聴して、また協議の中で心に残ったことを一つ記載してください。

環境・取組 について

- ・就学前施設で過ごした環境に近い物を用意して子どもたちが過ごすことで安心感や学校って楽しいと思える事が大事だと思いました。
- ・子どもたちが環境を変えるだけでこれほど変わるとは…と思いました。
- ・小学校で折り紙や塗り絵を用意されて、それが子どもたちの“準備を早くしよう”や“学校が楽しい”という気持ち（安心）につながっていることが印象的でした。また“ござ”も準備されて円になって…というのもとてもいいと思いました。（それを更に 6 年生までと言われていたのが素晴らしいと思いました。
- ・机と椅子だけでなく、子どもたち同士の関わりが深まるような環境を考えてくださり園の環境や遊びを取り入れてくださっていることが嬉しく思いました。
- ・スタートカリキュラム環境を初めて拝見させていただき驚いたことが多く有った。私自身小学校は学ぶ場所という印象があり、毎日小学生は何をして遊んでいるんだろうと思っていたので、園にもあるようなおもちゃがあり安心した。
- ・以前に実践の様子を伝えていただいたことはあったのですが、今回実際に映像を見せていただき、子どもたちの生き生きとした表情が見られ、とても良かったです。
- ・にこちゃんタイム 園で遊んでいたおもちゃを小学校にも置いてあり、遊べる時間があったこと。
- ・学校のスタートを班机にしておくことで、始まりを友だちとの顔合わせから始められ、自然に話せる環境になっていることで安心につながっていることがすばらしいと感じました。
- ・砂場があると水や土遊びが好きな子にとって安心できる環境なのでぜひ自校でも作ってほしいと思った。
- ・南部小は入学式から班机にされていたのでぜひまねしたいです。
- ・学校探検、とても参考になりました。牛乳パック校舎まねします!!

カリキュラム について

- ・南部小の先生が「子どもの姿に合わせたカリキュラム」とおっしゃっていたこと。
- ・子どもたちが無理なく小学校でも生活ができるように考えられていることを学んだ。

連携

- ・一担任でいくのではなく、学校全体で保幼こ小連携をしていくことの大切さを学びました。
- ・学校全体で協力しておられる所がすごいと思いました。6 年生との関わりなども関係しているので教師全体で話を聞いた方がいいのでは。

育ち

- ・幼稚園で培った力を小学校の先生も知り理解していることで、より力を発揮していけるのだと感じた。
- ・にこちゃん・えがおタイムを通して主体性・人間関係の形成につながっていくこと。

2. 指導助言



京都府山城教育局

指導主事 幾馬 礼奈先生



講師の先生のお話の中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間に知らせたいこと)
教えてください。

大切な こと

- ・幼児教育の大切さを改めて感じました。
- ・まずは「安心・楽しい」が大切であり、「環境を通して行う教育」子どもたちの興味から学びにつなげる授業の工夫が大切とおっしゃっていたこと。
- ・架け橋プログラムについて子どもたちのギャップを減らすために遊びを通して学びの土台作りをしていくこと。 ☆安心・楽しむことの大切さ
- ・幼児期は学びの芽生えであり、児童期は自覚的な学びであること。小学校 1 年生はゼロからのスタートではなく、5 歳児からの学びを積み上げていくことが大切である。
- ・幼児教育で社会情動的スキルが伸びるということが心に残りました。様々な遊びの経験や主体性のある保育が大切だと感じました。
- ・就学前の子どもと 1 年生の子ども、この 2 年が大切な年齢だと理解できた。
- ・“安心・安全・楽しく”が何よりも大切。子どもの実態に合わせてカリキュラムや環境構成を変えていくこと。
- ・遊びと学びの関係。つながりがあること。
- ・架け橋プログラムとは…幼と小 それぞれの学びを充実させていくことが目的!
- ・文科省の幼児期の大切な学びがわかる動画シリーズ

願 い

- ・幼児期と小学校教育のギャップを埋めることの大切さを改めて感じました。子どもたちが安心して楽しく学校に来られるようにするための環境をつくっていきたいです。
- ・環境・保育者との関わり。小学校とのつながりを通してよりよい子どもを育てていきたい。

環境・取組 みについて

- ・にこちゃんタイムの必要性
- ・環境整備、学校探検の在り方
- ・取り組まれた学校の成果



主体性

- ・子どもたち自身で考える機会を作ることが子どもの主体性につながる。
- ・自分で考えることをまず考え、それに対しての声かけがすばらしかった。
(ついつい言うってしまうため)

アプローチカリキュラムを考えながら保育していきたいです

遊びを通して小学校に向けた活動(数を数えたり、チャイムが鳴ったらどうするか)を少しずつ取り入れたい。絵に書いて1日の様子を知らせる等洗濯ばさみ、年長児はできそうなのでやってみたいです。

ござを敷いて集まる様子が私のクラスの子にとって話を聞く体勢をとるのにいいなと感じたのでやってみようと思います。

「環境を通して行う保育」の重要性をより追求、探求したいと感じました。

特に年長組で小学校のことを見通して、でも無理なく先生たちに子どもたちとの関わりを考えていけるようにしていけたらと思います。

自発的な遊びです。どうしても教えてあげたい気持ちが出てきたり、時間に追われて情報を伝えるだけになってしまうことがあるので、「なぜ?」「どうして?」を一緒に考えていきたいと思っています。

3歳児の担任をしているので一人一人が安心できる関係づくり、主体的に関わりたくなる環境づくりは今後も大切にしたいです。

保育や授業で
活かしたいこと



「にこちゃんタイム」などわくわくするような名前をつけたい。

日々子どもたちが主体となり語りかけ等行っていますが、小学校に向けて今の子どもたちを大切にしながら小学校へつなぎたいと感じました。

子どもたちの楽しさを引き出せるよう、また、小学校へ行く楽しみをふくらませることができるようになりたいです。

主体性をもって遊ぶことを取り入れてそれを意識した保育をしていきたいです。

子どもたちへの声かけ

逆に園で小学校に似た環境(机に座って活動してみるなど)を年長クラスで取り入れられたら子どもたちも楽しみに小学校へ行けると感じた。

小学1年生に向けて幼児期を過ごすことを考えて活かす。

洗濯ばさみジャンケン、ぜひやってみたいです。

つながりを意識すること

子どもたちにもっと考えさせる時間を作り、自分たちのしたいことや興味が学びにつながるよう導入方法等工夫していきたいです。

思考力 なぜ走ったらいけないか? 1つ1つ子どもたちに考えさせる。

「にこちゃんタイム」的な子どもの安心・楽しいの時間づくり

思考につながる声かけ

言葉かけ

楽しい授業を考えます。次はどんな楽しいことをしようか楽しみです。

「にこちゃんタイム」は取り入れてみたい。

子どもの自主性を伸ばすにはどうしたら
よいか。他の施設で取り入れていること
を学びたいです。

今回スタートカリキュラムの1年生の様
子を知れたので保育所など就学前にでき
ることを知りたいと思いました。

他の就学前施設が大切にさ
れている保育についても学
びたい。

研修もですが、まずは交流
をもっとしていけたらと
思います。

就学に向けて小学校からやって
ほしい事柄、習慣などがあれば。

幼稚園での過ごし方しか知らな
いので保育所等についても知り
たいと思いました。

小学校で実際に行っている
こと、園で行っていること

実際の保育・教育現場を
見ていただきたい

子どもの主体性について

今日のような研修をもう少し時間をか
けて行ってほしいと思いました。
園側、小学校側の様子を知りたいです。

実際に体験してみたい。
(ラキュー、レゴ…など)

保幼小で交流やそれぞれの
園・学校の様子

幼での遊びを小学校教員も
体験してみたい。

施設類型を超えて
一緒に研修・研究
したいこと



小学校教員が保育士体験を
する(園での様子をより知る
ために)

互いの環境設備の確認と互
いの教育目標とその手立ての
交流

子どもの10の姿について

授業や保育の参観、研修を同時期に
設定して合同で実施できたら良いか
なと思っています。

よりよいアプローチカリキュラムと
スタートカリキュラムの作成

環境

スタートカリキュラムの在り方について

スタートカリキュラムを経験した2年生などの子どもの育ち

幼小一体的に実践できそうな学びの在り方

設定保育と自由保育の良い点と
悪い点について

保幼小お互いの施設の様子を
実際見ることで自園でも取り入
れやすくなるのかなと思いま
した。

子どもの育ちにつながる
環境設定について

行事や授業・保育を公開し合
えたらいいなと思います

幼児教育施設でのアプローチカリ
キュラムを知りたいです

他の小学校での取組、
子どもたちがはまった
遊びなども知りたいで
す

スタートカリキュラムの環境等
について現在の保育室との共通点

今日のようにエピソード・映
像から互いの考えについて
知る機会があると良いなと
思います。

架け橋プログラムの実践
(園→小学校)

子どもたちの実際の姿を職員同
士で見合い、子どもの表情から大
切なことを再度気づいていけたら
と思います。